

会 議 録

[所管課 水谷公民館]

会議の名称	平成25年度第1回水谷地区公民館運営審議会会議録
開催日時	平成25年7月11日(木) 午後4時～6時30分
開催場所	水谷公民館・会議室
出席者	萩元不二夫委員 佐藤 和秀委員 是永 国彦委員 山本百合子委員 坂間 道夫館長 小俣 正巳主査 大日方清美主査 加治あゆみ主任
会議次第	あいさつ 水谷公民館館長 地区公運審代表萩元委員 議事＝協議事項 別紙のとおり
会議資料	別添のとおり。

会 議 内 容

議事

1. 連絡事項

○ 施設利用アンケートについて

委員：アンケート結果について、館長より報告。同区分で2団体が利用するケースについて（水谷公民館のみ）、特に不満が出ているわけではなく利用が有料化されたときに決まった手続き方法で今日成りたっているのであれば、現状のままでよいのではないかと。

職員：公共施設予約システム導入について、平成27年度導入が、現在検討されている。

2. 協議事項

- (1) 「公民館を中心とした社会教育活性化支援プログラム」について
プログラムの趣旨について、館長より説明。

委員：Aコース、Bコースのウォーキングについては、難波田城資料館の探訪部会でやっているのだから、水谷地域の自然や地理についてのノウハウを持っていることから、協力依頼をしてみてもどうか。

職員：高齢者学級（水谷学級）でもお願いしているため、候補として考えている。

委員：伝統芸能コースについては、公民館ができた時か10周年か定かでないが、以前に「寄席囃子」を水子のお囃子4団体で行っている。時期にもよるが、相談をしてみるといいのではないか。

職員：以前やっていた経過があるのであれば、一度相談をしてみようと思う。

委員：もし、お囃子が可能になるようなら、舞台を組むなどいろいろやることが出てきそうだが、その予算はあるのか。

職員：プログラム案を提出した際に、「会場設営費」として予算計上している。

委員：今年は水谷文化祭も30回目の節目となるため、文化祭と合わせたり、隣の小学校（校庭）を利用して行うなど、いろいろ試みてもいいのではないか？

職員：文化祭については、立地的に隣に小学校があるため、小学生が何かしらの形で参加していただけないかということ、校長先生に打診している状況。

委員：いろいろな世代が参加できれば、とても素晴らしいことではないか。

（2）水谷公民館「井戸端会議」の今後の方向性について

「井戸端会議」のこれまでの経緯について、職員より説明。

職員：平成23年度の開催後、方向性が定まらず、開催ができていない。今後の会議の持ち方として、どのようにすればよいか意見をいただきたい。

委員：当時の開催としては、とりあえずいろいろな分野で活躍されている方々からの意見が欲しいということで、3地区で集まっていたいただき改善したいところや見直しが必要な事を挙げていただいた。最終的に、3地区で考えることは厳しいということになったため、わけて考えていこうということになった。イメージとしては、何か地域の議題が持ち上がった時に、それを話せる場として「井戸端会議」が機能し、地域や役所へ働きかけができるような仕組みができればいいと考えていたが、地域事情として、“安定している”ということもあり、特に「井戸端会議」の必要性が出てこないという現状もある。

職員：一度、針ヶ谷地区で防災の話が出たため、「井戸端会議」の開催を考えたが、町会長改選のタイミングと重なってしまったことから、白紙になった。水谷も新しく家が建っているが、まちづくりの話が大きく出ているかということ、そうでもないように感じる。また平成24年度は市長部局で出ていた、「まちづくり協議会」も混同させる結果となってしまったため、申し訳なく思っている。

委員：町会長や民生委員さん方々は、様々な場所で活躍されているが、地域の疑問のようなことを話せる現状にあるのか？

職員：おそらく多くの業務がありすぎて、こなすのに精一杯なのかもしれないことから、確認をしてみる必要がある。

委員：ちょっとした地域の疑問などを、地域にいる方々で話せるような場所があれば、それが「井戸端会議」になるのではないか。

職員：格式ばった会議ではなく、自然と地域の“困った事情”がでてきている話し場が現状としてあるのかどうか、職員の方で調べてみることにする。

3. その他

入間地区公民館連絡協議会主催の研修についての案内と、公民館だより編集委員の推薦の有無、最近の地域情報について、行う。

終了後、閉会